

愛西市教育委員会では、愛西市立小中学校の適正な規模の検討並びに老朽化対策を進めています。
 今回 (Vol.7) は、「愛西市教育委員会が考える老朽化対策」と「適正規模等並びに老朽化対策に関する意向調査の実施」について、お知らせいたします。

愛西市教育委員会が考える老朽化対策

(令和4年3月愛西市小中学校施設の老朽化対策に関する提言書より一部抜粋)

愛西市立小中学校の学校施設は、その多くが建築からおよそ50年が経過し、更新時期を迎えています。加えて、社会の変化に伴い、学校教育に必要とされる施設機能も変わってきています。こうした現状を受け、令和3年1月から令和4年3月にかけて、愛西市小中学校施設老朽化対策検討委員会が15回開催され、当委員会から市教育委員会に対し、「愛西市小中学校施設の老朽化対策に関する提言書」が提出されました。

市教育委員会は、その提言も踏まえ、今後、「第Ⅰ期愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」(以下「第Ⅰ期基本計画という。」)を策定し、老朽化対策に取り組んでいきます。

今回は、小中学校施設全体に向けた5つの提言を紹介いたします。

5つの提言

① 構造躯体(※)の専門的な劣化状況の調査に基づいて老朽化対策事業を実施

大規模改修や改築など、効率的かつ効果的な老朽化対策の手法を判定する。

② 外壁や屋上等の定期的な予防改修事業を実施

定期的にメンテナンスを行うことで、校舎等の健全な状態を中長期的に保つ。

③ 現在の学校機能に必要な環境整備の推進と既存施設の有効活用について検討

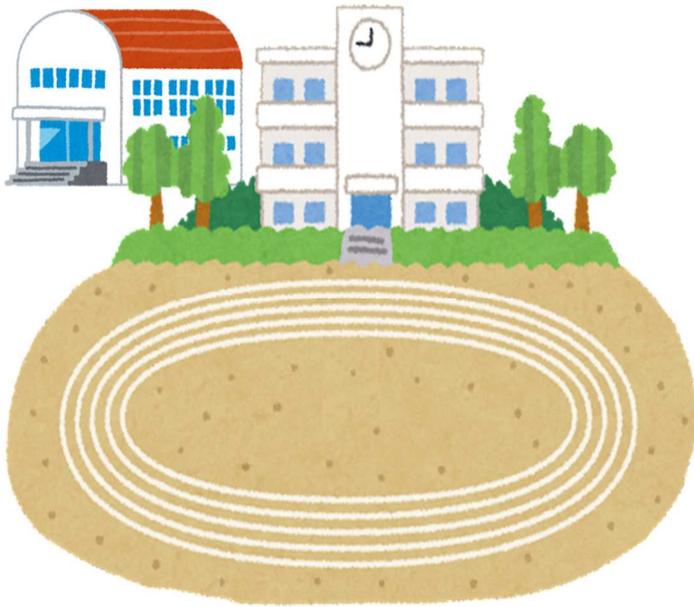
バリアフリー化や多目的室の設置など、子ども一人ひとりを大切にし、教育方法や学習活動の多様化を支える施設環境の整備を行う。

④ 今後の学校のプールの在り方について早急に検討

床のひび割れや塗装剥がれなど、多種多様な問題への対応と、新たな水泳授業の実施方法を検討する。

⑤ 各校における屋外避難階段の必要性の検討と対策の実施

適切な避難経路の設定に向け、各校の状況に合わせた屋外避難階段の在り方を検討する。



※構造躯体：建築構造を支える骨組みにあたる部分のこと

裏面には、「5つの提言に関する今までの取り組み」について掲載しています。是非ご覧ください。

○5つの提言に関するこれまでの取り組み（一部を抜粋しています。）

屋外避難階段の塗装修繕

令和4年度に永和中学校、令和5年度に勝幡小学校で、屋外避難階段の塗装修繕を行いました。

右の写真は勝幡小学校の修繕前後の写真です。塗装剥がれの修繕や、さび止めの塗布などを行いました。

修繕前



修繕後



民間スポーツクラブでの水泳授業

新たな水泳授業の在り方として、今年度、民間スポーツ施設を活用し、立田北部小学校全学年の児童が、インストラクターの水泳指導を受ける授業手法を試験的に実施しました。



学校施設は、子どもたちに対し学校教育活動を行う大変重要な場で、充実した教育活動を実施し、豊かな人間性を育むことができる施設でなくてはなりません。

さらに、学校施設は地域住民にとっても、生涯学習、スポーツ等の活動場所や、災害時の避難場所としての役割も担っております。老朽化は、市全体の大きな問題であり、市教育委員会は、引き続き老朽化対策を行っていきます。

○適正規模等並びに老朽化対策に関する意向調査を実施しました

愛西市教育委員会は現在、子どもたちの教育環境の改善を第一に、学校教育の目的や目標を実現するため、第Ⅰ期基本計画の策定を進めています。計画策定にあたり、11月号広報紙の配布とあわせて、立田・八開地区の世帯に適正規模等並びに老朽化対策に関する意向調査を配付させていただきました。

回答の提出につきましては、11月12日をもって締め切りとさせていただいております。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見につきましては、集計でき次第、HPやチラシを通してお知らせします。

お問い合わせ先 愛西市教育委員会事務局教育部学校教育課
0567-55-7136 / gakkou-kyoiku@city.aisai.lg.jp